

まちの話題



卒業生に花束が贈呈されました



3月で卒業する市内の全中学校と小学校の生徒に、うきは市産の花を使用したアレンジメントフラワーと花束を贈りました。

この取組みは、新型コロナウイルスの影響で花の売上げが減少する生産者の支援とコロナで学校行事が中止や縮小となった生徒たちの思い出作りとして、JA花部会と市が連携し行いました。

春季模擬山林火災訓練が行われました



3月21日にうきは市消防団および浮羽消防署総勢約150名で、吉井百年公園付近において山林での火災を想定した「春季模擬山林火災訓練」を実施しました。

2月に栃木県足利市で発生した大規模な山林火災では、約106ヘクタールを焼失しました。登山客による火の不始末が原因となった可能性も指摘されていますが、山林を多く抱えるうきは市でも、他人事とは思えません。

市民の皆様には誰もが原因となり得ることを念頭に、火の取り扱いには十分に注意をお願いいたします。また、火災や風水害等にそなえて活動する消防団および消防署へのご理解とご協力を引き続きお願いいたします。

粥開きが行われました



▲平成27年に行われた粥占の結果



▲今年の粥開きの様子

3月30日、田箆にある諏訪神社で粥開きが行われました。この行事は、釜や鍋で炊いた米の粥を器に盛り、一定期間神前に備え置いた後、粥に生えたカビの状況からその年の豊凶を占うものです。

今年の粥は全面が黒く覆われ、白いカビが点々としていました。神事を執り行った宮司の熊抱建彦氏によると「黒く覆われることは珍しく今年も辛抱の一年になるのでは。ただ、今年を乗り越えることができれば来年は明るい年になるだろう」と語りました。(粥占の詳細については広報うきは3月15日号P6~7を参照ください)